

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	倉敷学園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 31
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性等に応じた専門性のある支援	集団生活の中で個別に対応できる部分は1対1で対応して、出来たことを称賛	専門職(作業療法士・言語聴覚士・理学療法士)による個別・小集団での特別支援
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供	子育てや保護者の悩みが少しでも軽くなるような内容を検討	さらに多くの保護者に参加頂けるように開催日時を工夫
3	児童発達支援計画を多職種が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討及び支援	児童発達支援管理責任者だけでなく保育士・児童指導員・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・看護師等専門的な視点からの個別支援計画を作成	成人期を見据えた一貫した支援を検討

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園庭が狭い	構造的な問題	園庭は地域の保育園や幼稚園等に比べると狭く思いっきり走り回るといった活動が難しいところがあります。次年度は少し運動活動を増やすプログラムを検討しております。
2	職員配置数	昨年度の配置数から各クラスマイナス1名	職員数については国が定める基準では12.5人です。今年度は昨年度より各クラス1名職員数が減少しましたが約20人を配置しています。クラス間の協力が増えました。また、業務改善にも取り組んでおり、これまで以上に子ども達への支援時間を増やして参ります。
3	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない	地域へ出ていく回数が少ない	庄地区の保育園との交流を始める予定です。また、庄人権推進委員会に加入し、保幼少・中・高・地域の施設と交流